

年頭のあいさつ

新たな時代を迎え
さらなる「選ばれるまち」へ

市長 奥ノ木 信夫



安全で安心して暮らせる
まちを目指して

議長 前原 博孝



新年明けましておめでとうございます。市民の皆様には、令和2年の清々しい新春を健やかに迎えのことと心からお慶びを申し上げます。

本市は昨年12月1日時点の人口が約60万7千人となり、政令指定都市を除けば全国で2番目の人口を有する大都市として成長を続けています。そして、令和という新しい時代を迎え、新たなステージに向け着実に歩みを進めております。

昨年は、3大プロジェクトをはじめ目標に掲げたさまざまな事業を順調に進めることができました。また、年末には「本当に住みやすい街大賞2020」で第1位に選ばれるという大変うれしいニュースもありました。これら

はひとえに、市民の皆様のご理解・ご協力の賜物と、改めまして心から感謝と御礼を申し上げます。

さて、本年はいよいよ東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。現在、前回の東京大会の聖火台が里帰りしており、3月までキュポ・ラ広場に展示されていますので、皆様もぜひご覧いただき、オリンピックのレガシーを感じてください。そして、7月に埼玉県内で行われるオリンピックの聖火リレーでは、本市がスタート地となりますので、一緒に大会への機運を高めていきたいと思います。

また、新庁舎1期棟が3月に完成する予定で、5月には新たな庁舎に市民の皆様をお迎えいたします。そして、

川口市立高等学校は、アリーナ棟やグラウンドの整備を進めるとともに、中・高一貫教育を行う附属中学校を来年4月に開校すべく準備を進めていきます。

このほか、市民の皆様さらなる健康とくらしの安心のため、(仮称)子ども発達相談支援センターやこども夜間救急診療所の開設、医療センターにおけるがん患者への緩和ケア体制の整備など、保健・医療をはじめとするさまざまな取り組みについても積極的に進めて参ります。

結びに、新しい年が市民の皆様にとりまして、明るく希望あふれる飛躍の年となりますよう、心から祈念申し上げます。年頭のあいさつといたします。

新年明けましておめでとうございます。市民の皆様には、令和初めての新春を希望に満ちあふれ、健やかに迎えることと心からお慶び申し上げます。

市議会を代表いたしまして謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

昨年を振り返りますと、4月に実施されました市議会議員一般選挙で42人の議員が選出され、新体制での議会がスタートしました。改選後、初めての定例会となる6月市議会定例会では、昨今の行政が抱える諸問題について任期の4年間で審議するため、「都市基盤整備・防災力向上特別委員会」「地域活力・市民生活向上特別委員会」「保健医療・高齢者等福祉対策特別委員会」「次世代支援・教育力向上特別委

員会」を設置しました。

また、一般質問においては、延べ41人が登壇し、台風第19号をはじめとする自然災害の対策に関する質問や、福祉、産業振興、教育・子育て支援及び都市基盤整備など、多くの質問や提言が行なわれ、市民生活向上のために活発な議論がなされました。

さらに、12月市議会定例会におきまして、犯罪被害者が受けた被害の回復および軽減を図るため「川口市犯罪被害者等支援条例」を議員提案によって制定しました。

一方、長きに渡り活発な議論がなされてきた現在の議場は、その役目を終え、5月に新庁舎に場所を移します。新年を迎えるにあたり、本市議会と

いたしましたは、新たな議場でも、市政に対する監視機能や政策立案能力をさらに充実・発揮し、市民の皆様が安全で安心して暮らせるまち川口の実現に向け、そして、多くの人々から選ばれる魅力あるまちを創るため、全身全霊を傾注して参りますので、より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、令和となり、初めての本年は、十二支の一番初めに数えられる「子年」にあたります。新たなスタートに相応しいこの1年が、市民の皆様にとりまして活気にあふれ、明るく希望の光が芽生えるような、素晴らしい年となりますよう、心からお祈り申し上げます。新年のあいさつといたします。